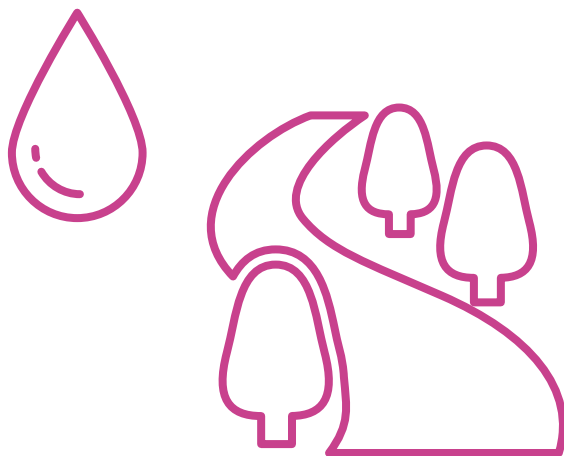


# 南部・東部の振興

## 第11部

ここでは県の東部を宇陀市、山辺郡、宇陀郡1市3村、南部を五條市、吉野郡の1市3町8村としています。

- 192 南部、東部の過疎地域
- 193 森林面積
- 194 人口の社会増減
- 195 就業率
- 196 污水处理人口普及率
- 197 持ち家比率
- 198 病院病床数
- 199 観光客数
- 200 延べ宿泊者数
- 201 生活に関する満足度





## 県内の過疎地域

### 南部・東部の過疎地域は県全体の面積の74.5%

南部・東部の過疎地域は、南部の1市2町8村と東部の1市3村とあわせて15市町村あり、県全体の面積の74.5%を占めています。

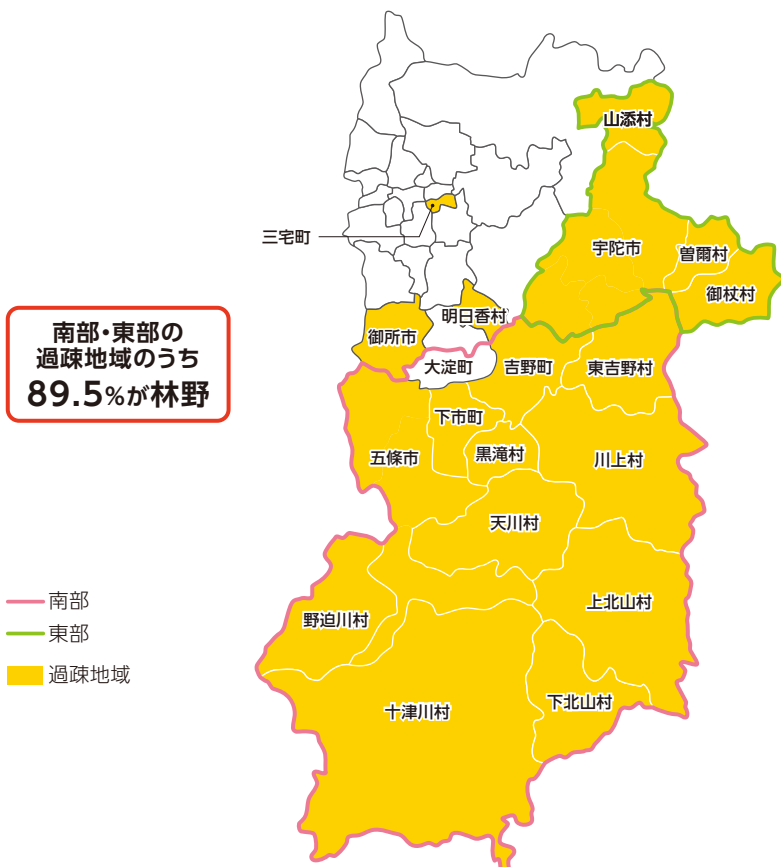
また、南部・東部の過疎地域のうち89.5%が林野となっています。

過疎地域自立促進特別措置法に基づく南部・東部の過疎地域は、大淀町を除いた15市町村となっています。

県全体の過疎地域の面積は、県面積の76.9%を占め、そのうち74.5%を南部・東部地域が占めています。

#### 県内の過疎地域

資料:農林水産省「2015年農林業センサス」





# 森林面積

## 森林面積割合は南部で県全体を上回る

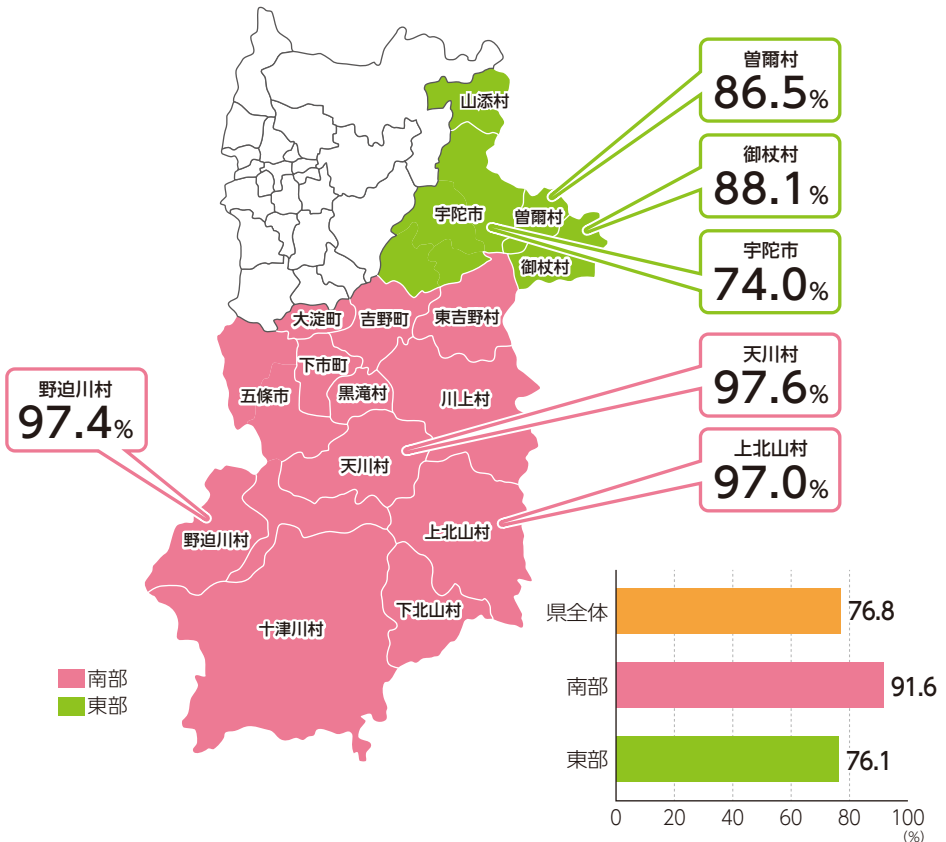
平成31年4月1日現在の森林面積割合は県全体で76.8%、南部で91.6%、東部で76.1%で、南部は県全体を上回り、東部は下回っています。

市町村別の上位3位をみると、南部では、天川村(97.6%)、野迫川村(97.4%)、上北山村(97.0%)となり、東部は、御杖村(88.1%)、曾爾村(86.5%)、宇陀市(74.0%)の順となっています。南部で最も森林面積割合が低いのは、大淀町(51.8%)となっています。

森林面積割合(平成31年4月1日現在)

資料:林業振興課

(算出方法:森林面積/総面積)





## 人口の社会増減

### 人口の社会減は、南部、東部ともに県全体より大きい

平成25年から平成30年の5年間の人口の社会増減率は、県全体が▲1.08%、南部が▲4.34%、東部が▲4.68%と、減少率が南部、東部ともに県全体より大きくなっています。

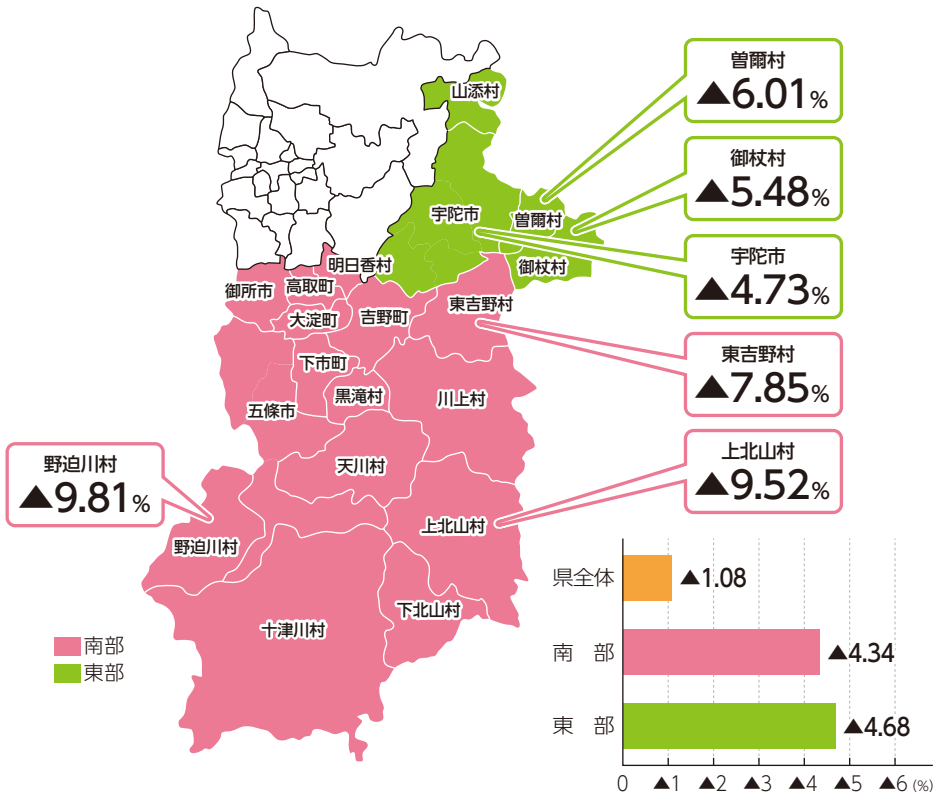
南部・東部地域のすべての市町村で、減少となっており、市町村別で減少率が大きい順で見ると、南部は、野迫川村(▲9.81%)、上北山村(▲9.52%)、東吉野村(▲7.85%)、東部は、曾爾村(▲6.01%)、御杖村(▲5.48%)、宇陀市(▲4.73%)の順となっています。

※この頁では、南部には南部地域と同様の課題を抱える御所市、高市郡を含めています。

#### 人口の社会増減率(平成25年～平成30年)

資料:県統計分析課「奈良県推計人口年報」

(算出方法 平成25年10月1日から平成30年9月30日までの(転入者数-転出者数) / 平成25年10月1日現在推計人口)





# 就業率

## 就業率は、南部、東部ともに県全体を下回る

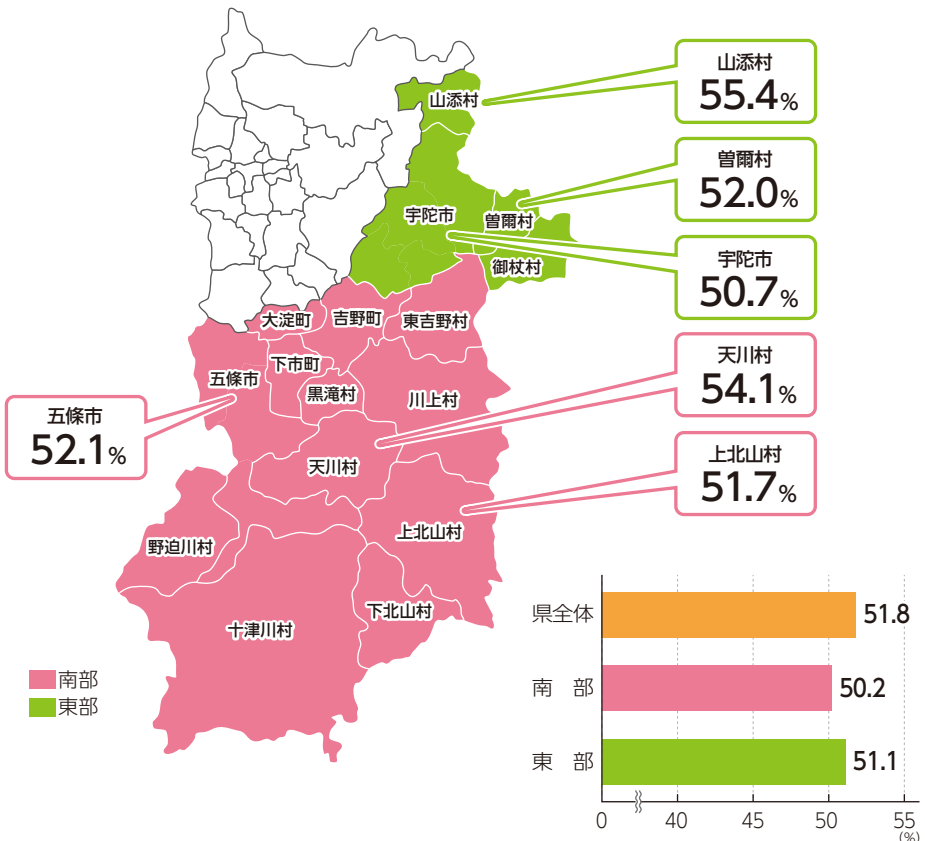
平成27年10月1日現在の就業率（15歳以上人口に占める就業者の割合）は県全体が51.8%、南部が50.2%、東部が51.1%で、南部、東部とも県全体を下回っています。

市町村別の就業率上位3位をみると、南部は、天川村（54.1%）、五條市（52.1%）、上北山村（51.7%）となり、東部は、山添村（55.4%）、曾爾村（52.0%）、宇陀市（50.7%）の順となっています。

一方、川上村（38.8%）、東吉野村（42.9%）などの就業率が低くなっています。

就業率（平成27年10月1日現在）

資料：総務省統計局「国勢調査」





## 汚水処理人口普及率

### 汚水処理人口普及率は南部、東部ともに県全体を下回る

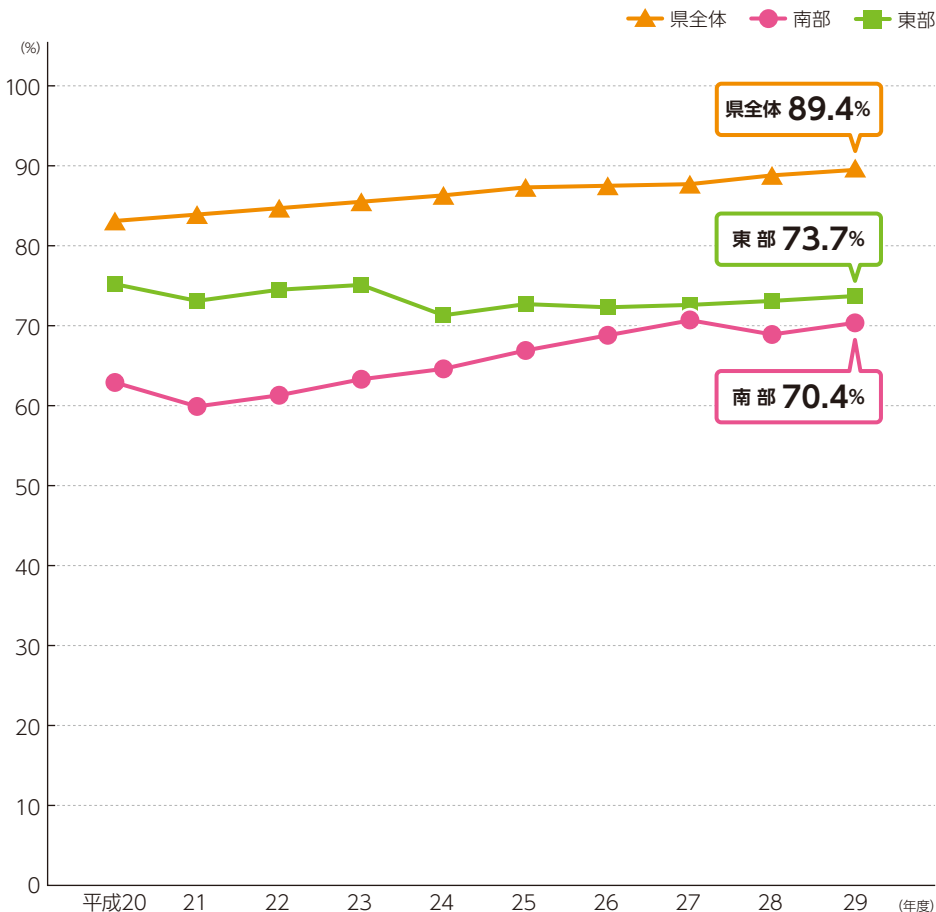
平成29年度末現在の汚水処理人口普及率は県全体で89.4%、南部で70.4%、東部で73.7%となっています。

●汚水処理人口…下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽、コミュニティ・プラントの処理人口

#### 汚水処理人口普及率の推移

資料:県下水道課

(算出方法 汚水処理人口/総人口(住民基本台帳人口による))





# 持ち家比率

## 持ち家比率は、南部、東部ともに県全体を上回る

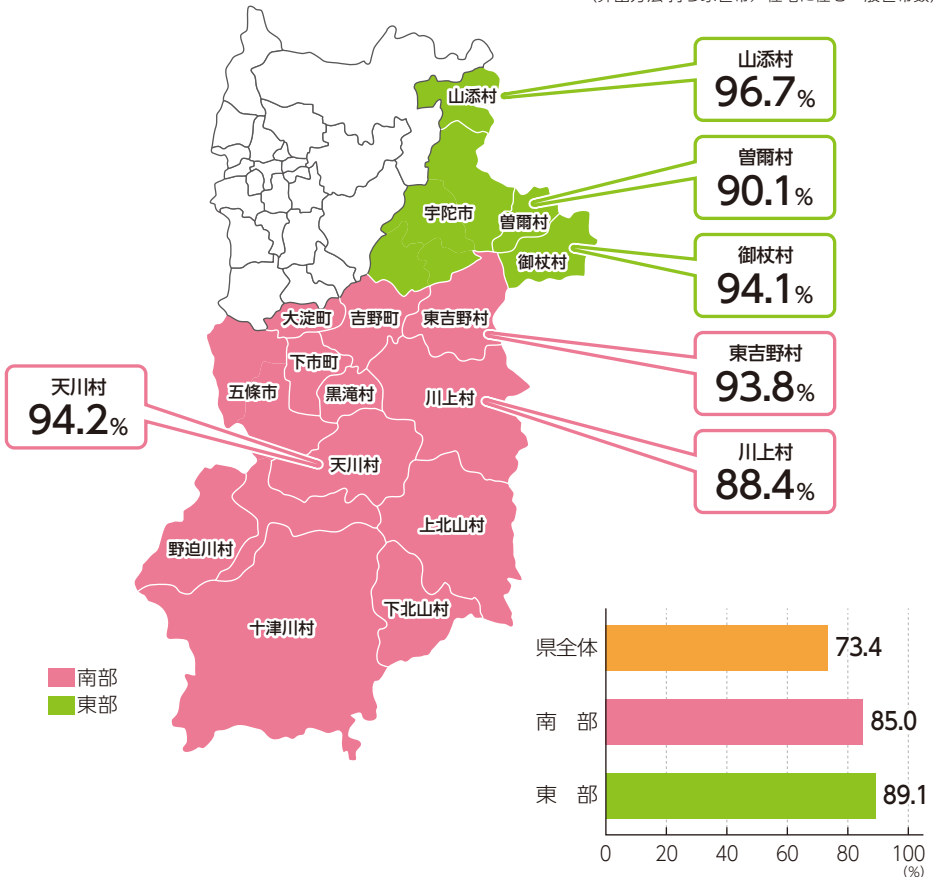
平成27年10月1日現在の持ち家比率は、県全体が73.4%、南部が85.0%、東部が89.1%で、南部、東部ともに持ち家率が県全体を上回っています。

市町村別の上位3位をみると、南部は、天川村(94.2%)、東吉野村(93.8%)、川上村(88.4%)となり、東部は、山添村(96.7%)、御杖村(94.1%)、曾爾村(90.1%)の順となっています。

持ち家比率(平成27年)

資料:総務省統計局「国勢調査」

(算出方法:持ち家世帯/住宅に住む一般世帯数)





## 病院病床数

### 病院病床数は、南部、東部ともに県全体を下回る

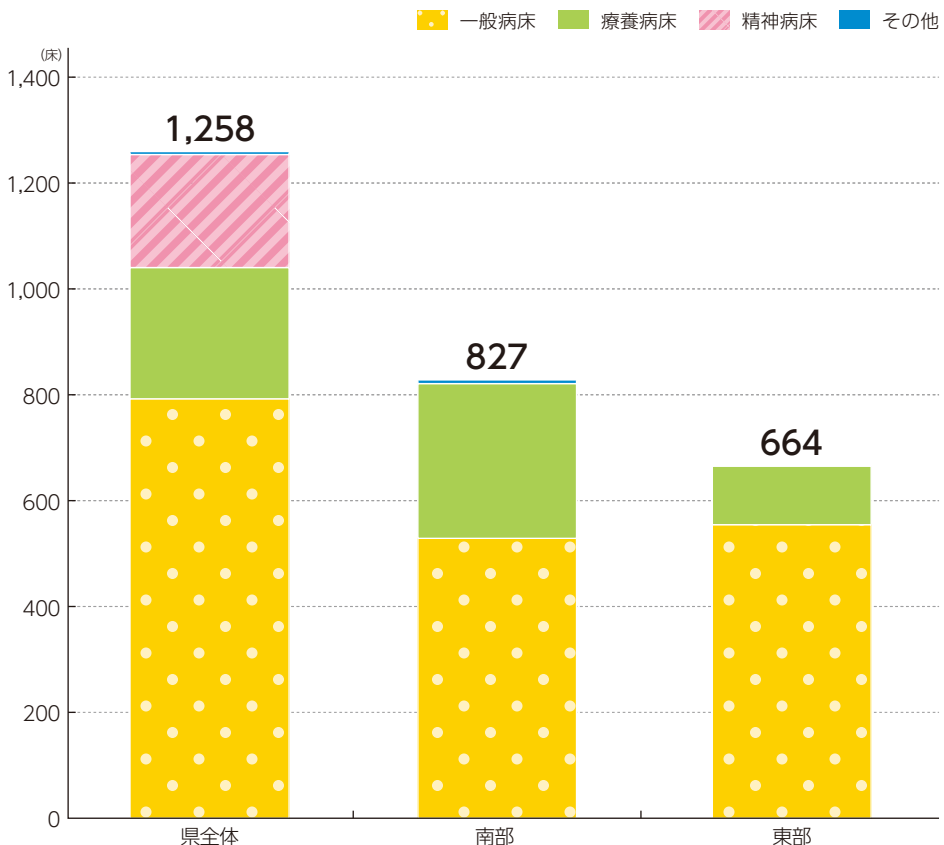
平成29年10月1日現在の人口10万人当たり病院病床数は、県全体が1,258床、南部が827床、東部が664床で、南部、東部ともに県全体を下回っています。

病院病床数ゼロの市町村は、南部では、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村および東吉野村となっています。東部では、山添村、曾爾村および御杖村となっています。

人口10万人当たりの病院病床数(平成29年10月1日現在)

資料:厚生労働省「医療施設調査」

(算出方法:各種病床数/総人口)







## 観光客数

## 平成29年の観光客数は、前年に比べ南部・東部地域全体で増加し、県全体に占める割合も増加

平成29年の調査では、南部・東部地域全体の観光客数は、平成28年の764万人から12万人増え(1.6%増)、776万人となりました。県全体に占める割合は、平成28年の17.3%から0.3ポイント増加し、17.6%となりました。

平成28年と比べて、南部では、13万人の増、東部では、1万人の減となりました。

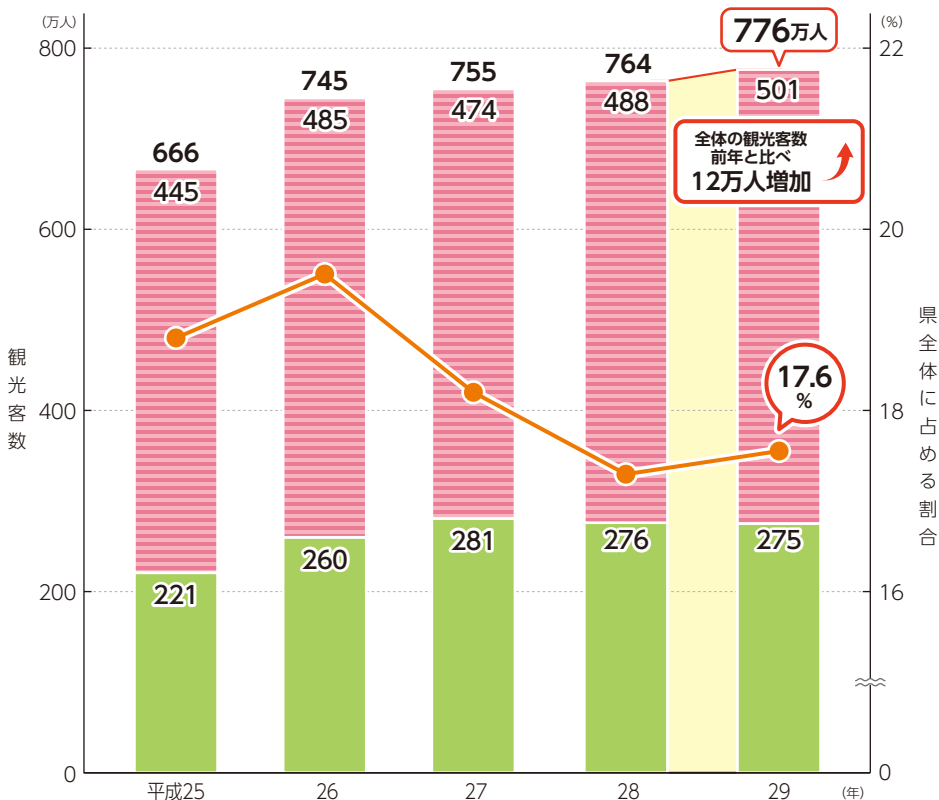
※この頁では、南部には南部地域と同様の課題を抱える御所市、高市郡を含めています。

## 観光客数

資料:県インバウンド・宿泊戦略室

〔奈良県観光客動態調査〕より算出

■ 観光客数(南部) ■ 観光客数(東部) ● 県全体に占める割合(南部・東部)(右目盛)





## 延べ宿泊者数

平成29年の延べ宿泊者数は、前年に比べ南部地域で増加したが、東部地域で減少。県全体に占める割合も減少。

平成29年の調査では、南部・東部地域全体の延べ宿泊者数は、前年と同じ60万人となりました。県全体に占める割合は、前年の22.0%から0.6ポイント減り、21.4%となりました。

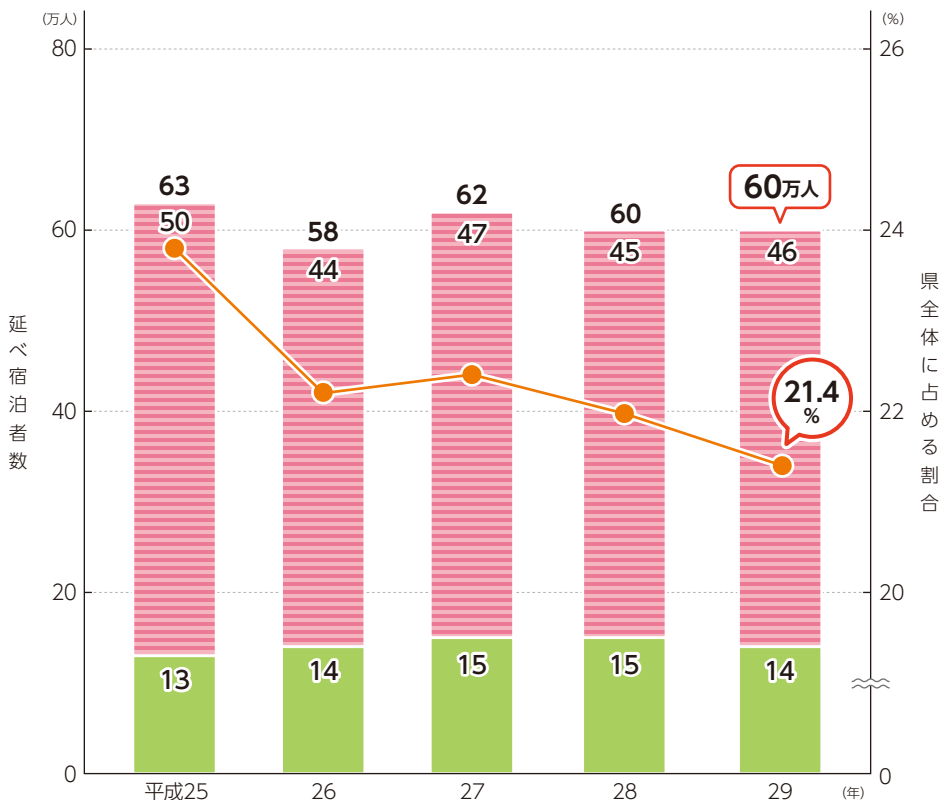
前年に比べ、南部では、1万人の増、東部では、1万人の減となりました。

※この頁では、南部には東吉野村を含みません。東部には東吉野村を含めますが、山添村を含みません。

## 延べ宿泊者数

資料：県観光局「奈良県宿泊統計調査」

■ 延べ宿泊者数(南部) ■ 延べ宿泊者数(東部) ● 県全体に占める割合(南部・東部)(右目盛)





## 生活に関する満足度

### 生活に関する満足度は、南部・東部地域で県平均を下回る

平成30年度県民アンケート調査では、生活に関する満足度は、全般的に県平均を下回っていますが、平成21年度と同調査の数値よりも、上昇している項目が多くなっています。

平成21年度調査との比較では、特に、「急病時の医療体制」に対する満足度は、0.47ポイント上昇(平成21年 2.34 → 平成30年 2.81)しています。

●満足度…県民アンケート調査で、生活に関する各項目について5段階で回答いただき、それぞれに次の点数を与え、平均をとった値

- ・十分満たされている(5点)
- ・かなり満たされている(4点)
- ・どちらともいえない(3点)
- ・あまり満たされていない(2点)
- ・ほとんど満たされていない(1点)

※この頁では、南部・東部には桜井市を含みますが、山添村を含みません

### 生活に関する満足度

資料:県統計分析課「県民アンケート調査報告書」

--- H21南部・東部    — H30南部・東部    □ H30県平均

